

人権擁護委員表彰

～市人権擁護委員の豊島氏、岡野氏が受賞～

このたび、市人権擁護委員の豊島美智子氏（板橋）が全国人権擁護委員連合会長表彰を、岡野美智子氏（下長沼）が関東人権擁護委員連合会長表彰および水戸地方事務局長表彰を受賞されました。

二人は、人権擁護委員として永年にわたり、地域社会において人権相談・人権教室・人権尊重思想の普及啓発など、さまざまな人権擁護活動に尽力されており、今回、その功績が認められました。

人権擁護委員は、市町村長か

企画から運営までを地域の文化団体の方々が行った「第4回小絹コミセンまつり」が7月3日、小絹コミュニティセンターで開催されました。

当日は、各団体の日頃の練習の成果が発表されたほか、小絹小学校音楽クラブや谷和原中学校吹奏楽部、小絹中学校合唱団の発表が行われるなど、出演者と来場者が共に文化交流を楽しみました。



谷和原中学校吹奏楽部の発表の様子



に重りを着けたほか、ゴーグル、耳栓をつけるなどし、高齢者の視点で、電話をかけるなどの日常生活動作を実践しました。

体験を終えた2年3組の沖田美華さんは、「体が重くあまり動けなかったので、階段は大変だった。高齢者を見かけたときには手助けをしてあげたい」と話してくれました。



伊奈中学校（遠藤一美校長）の2年生が、高齢者の視点から日常生活を実践するインスタントシニア体験を行いました。

生徒たちは、手首、足首、膝

伊奈中学校生徒が インスタントシニア体験

らの推薦により法務大臣から委嘱を受け、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくという職務を行っています。

市においても、4人の人権擁護

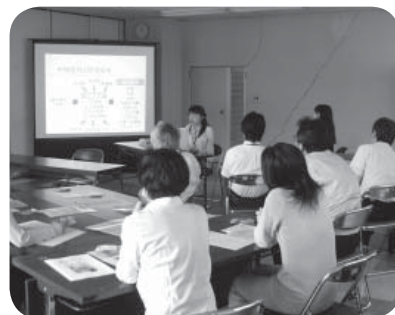
委員が日々、人権についての普及啓発活動を行っています。毎月「特設人権相談所」を開設しているほか、電話などでも地域の皆さんからの相談を随時受け付けています。心配ごとや困っていることがありましたら、お気軽にご相談ください。プライバシーは厳守されます。

認知症に理解を！

市では、平成22年度より、市職員に対し、認知症を理解するため「認知症サポーター養成講座」を実施しています。

講座では、記憶障害や判断力が鈍るなどの認知症の代表的な症例や、高齢者の尊厳を損なわない正しい応対などを学びます。受講者には、講座修了後、認知症サポーターのシンボルである「オレンジリング」が手渡されました。

来庁時、オレンジリングをしている職員を見かけたら、その職員は「認知症サポーター」です。参加した職員からは「窓口



に認知症かもしれない方がみえたら、優しく思いやりを持って接したい。相手の立場に立ってお話を伺い、来庁された用件をきちんと伺い対応したい。」という感想が聞かれました。

夜間の交通事故防止に向け ～キラリリーダーを任命～

～キラリリーダーを任命～

高齢者の夜間の交通事故を未然に防ごうと、茨城県警（常総警察署）は市内の各高年クラブの代表12人を「反射材着用推進リーダー（キラリリーダー）」に委嘱しました。

キラリリーダーは夜間・薄暮時などに反射材を着けて外出し、会合に出席したり友人宅を訪問する際や散歩などの日常生活を通して、反射材活用の輪を広げます。



▷委嘱状を受け取る市高年クラブ連合会会長の千葉優治さん